



広報

くりはら

2016(平成28)年2月1日発行
第231号

FEBRUARY

2

夢に向ってはばたく

1月10日(日)、若柳総合体育館を会場に栗原市成人式を開催しました。

成人式では、10年前に二十歳になる自分にあてた手紙を入れたタイムカプセルが開封され、新成人の代表が当時の思い出をなつかしそうに振り返ったほか、夢に向かって努力していることが紹介されました。



平成28年栗原市成人式… 2・3
報告 市政懇談会 ……………… 4・5

目 次

市からのお知らせ	6~14
生涯学習のひろば	14・15
話題今くりはら	16~20
学校きょういくの窓	21
くりはら研究所だより	22・23
きょうどうの広場	24
みんなの健康	25・26
環境・衛生ノート	27
休日急患診療当番医 ほか	28

これからもずっと…栗原





タイムカプセルを開ける
佐藤市長と宮藤さん(右)

**10年前の自分から
時を超えたメッセージ**

今年で、社会人3年目になりました。仕事では、常に向上心を持つよう心掛けたいです。また、常識と他人への思いやりを持ち、笑顔が素敵な大人をめざし、頑張ります。

10年前に埋めたタイムカプセルに入れた、自分で書いたメッセージが届きました。

聞いてみました。



櫻田圭也さん
(志波姫南)

自分へのメッセージに、当

時、大好きだった柔道のこと
がたくさん書かれており、改
めて柔道で頭がいっぱいだつ
た当時のことが思い出され、
懐かしく思いました。



佐藤美穂さん
(築館大堀)

実行委員長

新成人を代表して、成人式実行委員長に、これからどのような大人になりたいか聞きました。

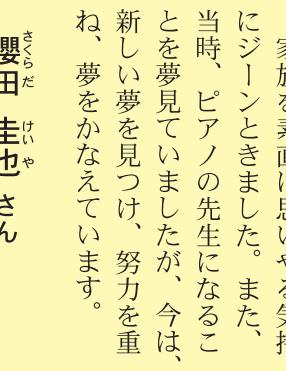
自分が目指す大人像



白鳥冴美さん
(築館上町)

家族を素直に思いやる気持

にジーンときました。また、当時、ピアノの先生になると夢見ていましたが、今は、新しい夢を見つけ、努力を重ね、夢をかなえています。



家族を素直に思いやる気持

にジーンときました。また、当時、ピアノの先生になると夢見ていましたが、今は、新しい夢を見つけ、努力を重ね、夢をかなえています。



1月10日(日)、若柳総合体育馆で行われた平成28年栗原市成人式には、今年新たに成人を迎えた668人のうち、556人が華やかな晴れ着や羽織り袴などに身を包み出席しました。

式は、成人式実行委員会の進行で進められ、市民憲章を実行委員長の佐藤美穂さん(築館大堀)が読み上げ、全員で唱和しました。また、家族や来賓の方々が見守る中、副実行委員長の高橋聖弥さん(鷺沢駒場下)が「若さを原動力に、復興に向けて一人一人が向き合い、自分に与えられた役割に真剣に取り組むこと」が被災地の復興や地域社会の貢献につながる。成人としての責務を果たしていきたい」と堂々と誓いの言葉を述べ、参加した新成人は、20歳としての自覚を新たにしていました。

式辞では、佐藤市長が「困難や失敗を恐れず、努力は惜しまず、自分自身の持つ無限の可能性に挑戦し、明るい未来を切り開いていただきたい」と述べました。

記念アトラクションには、栗原ドリームアンバサダーを務める脚本家・監督・俳優として幅広く活躍する宮藤官也と

九郎さんをスペシャルゲストに迎え、新成人の代表5人と対談しました。宮藤さんは、これまでの経験などを紹介し、「目標があること 자체が素晴らしい、目標に向かって早めに準備することが大切」と、新成人にエールを送りました。

また、10年前の栗原市開市式で埋めたタイムカプセルが開封され、今年成人となつた皆さんが小学4年生当時に、将来二十歳になる自分へあてて書いた手紙が取り出され、新成人に引き渡されました。代表者が手紙を披露すると、子どもらしいメッセージが会場を和やかな雰囲気に包みました。また、当時の思い出がこみ上げ、思わず感動の涙がこぼれる場面もあり、新成人の門出を祝う思い出深い成人式になりました。



▲新成人に優しく語る宮藤さん

1月10日(日)、若柳総合体育馆で行われた平成28年栗原市成人式には、今年新たに成人を迎えた668人のうち、556人が華やかな晴れ着や羽織り袴などに身を包み出席しました。

式で埋めたタイムカプセルが新成人から質問を受けたほか、これまでの経験などを紹介し、「目標があること 자체が素晴らしい、目標に向かって早めに準備することが大切」と、新成人にエールを送りました。

また、10年前の栗原市開市式で埋めたタイムカプセルが開封され、今年成人となつた皆さんが小学4年生当時に、将来二十歳になる自分へあてて書いた手紙が取り出され、新成人に引き渡されました。代表者が手紙を披露すると、子どもらしいメッセージが会場を和やかな雰囲気に包みました。また、当時の思い出がこみ上げ、思わず感動の涙がこぼれる場面もあり、新成人の門出を祝う思い出深い成人式になりました。



【金成会場】
問 ヤマト政権の支配が及んでいたと思われる入の沢遺跡を、ぜひ保存してほしい。また、周辺の大仏古墳も発掘する必要があるのでないか。鏡が出れば、古墳 자체の意味づけも変わってくると思う。



としても柔軟に対応しますので、声をかけていただきたいと思います。



【問】 市長として、入の沢遺跡の保存は賛成です。四世紀の話ですから、夢のような話です。市としてどのように関わっていくべきか、関係機関と協議したいと思います。

【答】 インフルエンザの予防接種について、仙台市や登米市は有料だが、栗原市は無料で良かったと再認識した。地区ごとに集団接種できれば、なお良いと思う。

【志波姫会場】
問 中学生までのインフルエンザの予防接種について、仙台市や登米市は無料となつておらず、市外で

借りた場合の助成、婚



受けた場合は、接種費用の全額を助成しています。インフルエンザの予防接種は任意です。

【問】 ジオパークのパンフレットを見ても、何をメインに訪れて良いか分からず、また、市場が少ないという意見もあった。200万人以上の方が現地にたどり着けなかつたり、駐車場を整備してほしい。

【答】 栗駒山麓ジオパークは、市全域が日本ジオパークとして認定を受けました。平成28年度は、周遊ルートの設定、看板の設置、ガイドの養成、さらに魅力あるパンフレットを作成し、案内板や駐車場を整備してほしい。



【問】 避難所に医薬品や食料、水の備蓄が無かつた。業者と災害協定を結んでいても大規模災害が発生した際には、輸送手段が断たれてしまう。十分な対策を考えなければならないの

【高清水会場】
問 9月の大暴雨で、高清水地区来光沢の国道4号が水没し、通行止めになつた。大雨が降るたびに通行止めになら

【答】 現地は平成14年の大雨でも冠水し、国土交通省が新たな排水路を整備しておりましたが、今回は100年に一度の大暴雨ということで処理能力を超えてしまいました。排水路の管理および整備について、十分留意していただけます。

【答】 栗駒山登山の奨励は、すばらしい案です。私も妻と登ったことがあります。チャンスがあれば、また、挑戦してみたいと思います。市民にも呼びかけてまいります。

【瀬峰会場】
問 栗駒山の紅葉は、日本一すばらしい。しかし、地区の方に登ったことがあるか問い合わせたところ、一人も居なかつた。栗原市民として一度は絶景の時期に登るよう奨励してほしい。

【答】 コミュニティFMの導入は、市長になつたときから考えていましたが、施設整備に多額の費用がかかることや、運営を担う民間の受け

市民の皆さんとまちづくりの意見交換



市長と市民の皆さんが直接意見交換を行う場として例年開催している市政懇談会を、10月31日(土)から11月29日(日)にかけて、市内10会場で開催しました。

今年度は、「地方創生への取り組み」や「栗駒山麓ジオパークの取り組み」を詳しく説明し、参加者から、まちづくりや地域課題解決への提案や意見などをいただきました。

企画部市政情報課 ☎(22)1126

【問】 ほかの都市から転入してきた働き盛りの方や家族連れの方の受け皿として、どのような形をとっているのか。

【答】 【若柳会場】 イターンを具体的にどのようにアピールしていくのか。

【問】 地方創生の柱は、中央から地方への移住となっています。市では

【答】 年を環境省が宣言した

【問】 雪が降り、調査の越

【答】 なれば、市町村長会議の場で調査受入れを反対します。

【問】 企画部市政情報課 ☎(22)1126

【問】 ジオパークとの関係もあると思うが、指定廃棄物最終処分場候補地について、これからどのように進めていくのか。

【答】 【栗駒会場】 いかがなものか。

【問】 ほかの都市から転入してきた働き盛りの方や家族連れの方の受け皿として、どのような形をとっているのか。

【答】 【栗駒会場】 のようにアピールしていくのか。

【問】 ほかの都市から転入してきた働き盛りの方や家族連れの方の受け皿として、どのような形をとっているのか。

【答】 【栗駒会場】 ほかの都市から転入してきた働き盛りの方や家族連れの方の受け皿として、どのような形をとっているのか。

【問】 ほかの都市から転入してきた働き盛りの方や家族連れの方の受け皿として、どのような形をとっているのか。

【答】 【栗駒会場】 ほかの都市から転入してきた働き盛りの方や家族連れの方の受け皿として、

平成27年9月関東・東北豪雨災害により被害を受けられた方へ 「雑損控除」について

所有する資産が豪雨災害や盗難などの被害にあった場合は雑損控除に該当します。

控除計算に該当するものは

①被害のあった資産本体の損害額※1(建物、家財、車両など)

②災害関連支出 被災した資産に関係して支出した費用のことと、次の支出が該当になります。

□災害により損壊した資産などの取り壊し除去などの費用※2

□資産の損壊または価値の減少を防ぐための支出※2

□災害により生じた土砂や障害物の撤去費用

□被災物件の原状回復に要した費用から損害額を差し引いた費用

※建物の新築、新しい資産の購入などの費用は該当なりません
※農業や営業をしている分の資産(作業場など)は事業所得の経費となります

※1 資産の「被災直前の時価」から「被災直後の時価」を引いたものです

※2 被災した建物や家財などを解体、撤去するために必要な支出で、住宅付近の土砂崩れによる損壊防止のためにフェンスなどを設置した費用や土砂の撤去費用などです

●計算方法

損害額や災害関連支出の金額がそのまま控除額にはならず、保険金等を引く下記の計算をすることになります。

$$\text{損害額} + \text{災害関連支} - \text{保険などの補てん額} = \text{差引損失額}$$

ⒶとⒷのどちらか、金額が大きい方が 雑損控除額となります

$$\text{Ⓐ 住宅・家財・車両の差引損失額の合計} - \text{所得の } 10\%$$

$$\text{Ⓑ 災害関連支出} - 5 \text{ 万円}$$

※差引損失額が所得の10%に満たない場合は対象となりません

※保険金が平成27年中に支払われていない場合は見積もり額により計算することになります

●持参するもの

□収入があった方

- ①給与、公的年金などの源泉徴収票
- ②営業、農業、不動産などの収入金額・必要経費をまとめた書類(売上帳、仕入帳、農業所得計算ノートなど)
※農業の場合は、営農用通帳
- ③土地・建物の売買契約書や関係書類(公共事業などによる収用の場合には証明書なども必要です)
- ④個人年金や保険満期返戻金などの受取額や掛金の額を証明する書類
- ⑤そのほか、平成27年中に得た収入や経費を証明する書類

□各種控除を受ける方

- 【医療費控除】**①医療費の領収書(医療機関にかかった人ごと、および医療機関ごとに集計したもの)
②生命保険や高額医療費で補てんされた金額が分かる書類

- 【社会保険料控除】**各種保険料(税)領収書(国民健康保険税、介護保険料、国民年金保険料、後期高齢者医療保険料、農業者年金保険料など)

- 【生命保険料控除】**生命保険料控除証明書(生命保険、介護医療保険、個人年金保険)

- 【地震保険料控除】**地震保険料控除証明書(地震保険、旧長期損害保険)

- 【障害者控除】**①身体障害者手帳など

- ②市発行の障害者控除対象者認定書

- 【雑損控除】**①被害を受けた資産の取得時期・取得価格が分かるもの(住宅:登記簿、契約書など構造、面積が分かるもの、家財:申告者が記載した明細書、車両:車検証、廃車証明、契約書など)
②修繕や取り壊し費用の領収書の写し(口座引き落としの場合は通帳)
③被害があったことによって受け取った保険金額が分かるもの(保険会社の支払い通知または振込通帳)
④り災証明書(交付を受けている方)

- 印鑑

- 税務署から送付される確定申告書(届いている方)

- 還付金の振込希望口座番号(本人名義に限る)が分かるもの

平成28年度市県民税 平成27年分所得税 申告相談会

~2月8日(月)から3月15日(火)まで~



所得の申告は税金を納めるだけではなく、国民健康保険税や介護保険料、保育料などの算定や各種行政サービスを受けるための基礎資料となる大切な手続きです。今年も市県民税・所得税などの申告相談会を開催しますので、必要な書類を準備の上、各会場へお越しください。

申告が必要な方など詳しくは、問い合わせてくださいか、市ホームページで確認してください。

問 総務部税務課 ☎(22)1121 各総合支所市民サービス課 URL <http://www.kuriharacity.jp/>

●申告相談日

【平日】2月8日(月)~3月15日(火)

【休日】2月14日(日)、28日(日)、
3月6日(日)

【夜間】2月23日(火)、3月10日(木)

●受付と相談時間

	受付時間	相談開始時間
午前の部	午前8時30分~11時	午前9時~
午後の部	午前11時~午後4時	午後1時~
夜間の部	午後4時~7時	午後5時30分~

※午前の部の受付は、混雑状況によっては午後になる場合があります

●地区の日程および場所

地 区	日 程	場 所
築館	2月8日(月)~3月15日(火)	築館総合支所 1階会議室
若柳	2月8日(月)~3月15日(火)	若柳総合支所 2階201会議室
栗駒	2月8日(月)~3月15日(火)	栗駒総合支所 大会議室
高清水	2月19日(金)~3月1日(火)	高清水総合支所 会議室
一迫	2月18日(木)~3月15日(火)	一迫総合支所 2階201会議室
瀬峰	3月2日(水)~15日(火)	瀬峰総合支所 会議室
鶯沢	2月8日(月)~18日(木)	鶯沢振興センター 1階研修室
金成	2月25日(木)~3月15日(火)	金成総合支所(金成生涯学習センター) 1階研修室
志波姫	2月8日(月)~24日(水)	志波姫この花さくや姫プラザ 健康指導室
花山	2月8日(月)~16日(火)	花山総合支所 2階会議室

各行政区の相談日は、1月15日(金)に配布した「市県民税等申告相談のお知らせ」で確認してください

※土・日曜日、祝日および夜間を除き、2月10日(水)から築館税務署でも確定申告を受け付けます

※所得税還付申告の方は1月から税務署で申告を受け付けています

おうちで作成 ネットで申告



e-Tax(国税電子申告)を利用すると、税務署や申告相談会に行くことなく、自宅などからインターネットを利用して申告や納税することができます。

詳しくは、e-Taxホームページを確認してください。

URL <http://www.e-tax.nta.go.jp/>

税務署で申告をお願いする方

- 青色で確定申告を行う事業主の方
- 新規の住宅借入金等特別控除および住宅関連の特別控除の適用を受ける方
- 先物、株式・配当にかかる申告をされる方
- そのほか、高度な判断を要する申告の方



いのちの大切さについて改めて考えてもうた
め、自殺防止キャンペー
ンの一環として「みんな
の大切ないのち「標語」
募集を行いました。
応募総数732作品の
中から最優秀賞に佐藤祐
斗君の標語が選ばれま
した。

問 市民生活部社会福祉課 ☎(22)1340

「みんなの大
切ないのち「標語」

高額医療・高額介護合算制度

「お医者さんにかかったときの自己負担額」と「介護保険のサービスを利用したときの自己負担額」の1年分の自己負担額を合算した金額が、この制度の自己負担限度額を超えると、限度額を超えた分が支給されます。

●限度額は年額で計算されます

高額医療・高額介護合算制度は1年間の自己負担額を合算し、年額で計算されます。

□計算期間：毎年8月から翌年7月までの1年間

※今年は平成26年8月から平成27年7月までが対象

□自己負担額：上記期間内に自己負担した医療費と介護費（それぞれの月単位の限度額を超えて支給された額は除く）の合算

※食費・居住費・差額ベット代は合算の対象なりません

●世帯ごとに計算されます

同じ医療保険の世帯内で医療費と介護費を支払い、次の自己負担限度額を超えた世帯が対象となります。ただし、自己負担限度額を超えた額が500円未満の場合は支給されません。

負担割合	加入保険 所得区分	後期高齢者医療制度 +介護保険	被用者保険または国保+ 介護保険（70～74歳の方 がいる世帯）
3割	現役並み所得者 (上位所得世帯) ※1	670,000円	670,000円
1割	一般	560,000円	560,000円
	住民税 非課税世帯等	310,000円 区分II※2	310,000円 区分I※3
		190,000円	190,000円

所得区分	加入保険	被用者保険または国保+介護保 険（70歳未満の方がいる世帯）
上位所得者	ア 901万円超	1,760,000円
	イ 600万円超 901万円以下	1,350,000円
一般	ウ 210万円超 600万円以下	670,000円
	エ 210万円以下	630,000円
住民税非課税 世帯等	オ 住民税非課税世帯	340,000円

※1 住民税課税所得が145万円以上の被保険者および同じ世帯にいる被保険者

※2 同一世帯の全員が住民税非課税の方

※3 同一世帯の全員が住民税非課税で、かつ各種収入などから必要経費・控除を差し引いた所得が0円となる方

●申請手続き（手続き方法、支給時期などは各医療保険者によって異なります）

▶国民健康保険・後期高齢者医療制度に加入している方

合算制度の支給対象となる被保険者の方には、3月上旬ころにお知らせする予定です。ただし、次のような場合には、申請の対象となる旨のお知らせができないことがありますので、自己負担限度額などを参考に、支給の対象になるかを確認してください。

- △平成26年8月1日から平成27年7月31日までの間に、
・他市町村へ転居した方
・ほかの医療保険から国民健康保険または後期高齢者医療制度に加入した方

▶被用者保険（全国健康保険協会・共済組合など）に加入されている方

加入している医療保険者（事業所など）に問い合わせください。



健康管理で医療費抑制！

問 市民生活部健康推進課 ☎(22)0370

健康で生き生きとした毎日を送ることは、皆さん共通の願いです。もし、突然の病気やけがをしたときは国民健康保険などの公的医療保険が役立ちます。皆さんのが自分の健康管理を行うことで、医療費を抑えることができます。

増え続ける医療費

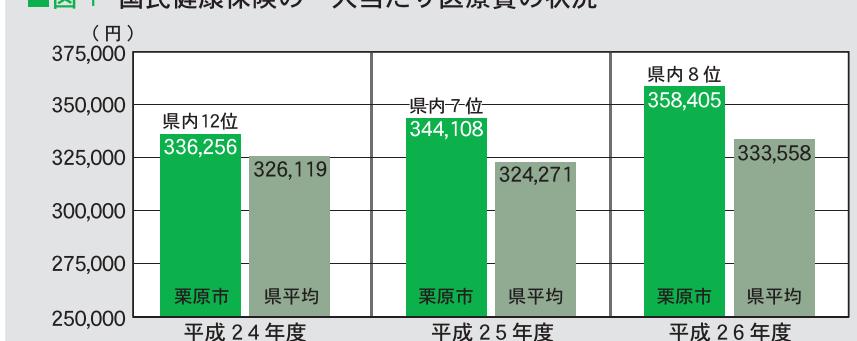
市の国民健康保険（国保）における一人当たりの医療費は、図1のとおりです。平成26年度では約36万円で県内8位です。市全体では約73億円と大きな金額になります。国保制度は、加入されていて運営しているため、医療費が増え続けると皆さんの負担も大きくなります。一人一人が医療費に関心を持ち「自分が健康は自分で守ること」が重要です。

自分の健康管理を心がけよう

これらの方々が基準範囲外で、血糖検査におけるヘモグロビンA1cでは76%の方が基準範囲外でした。図2は、疾患別標準化死亡比のグラフです。いずれの疾病も高い状況で、特に脳血管疾患を要因とした死亡が高くなっています。

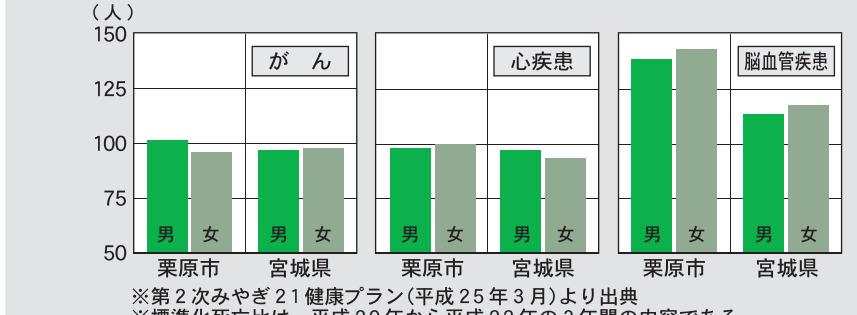
検査において「今の自分の健康状態」を確認しましょう。それを防ぎ、病気の早期発見のためにも、まずは健診を受け、「今自分の健康状態」を確認しましょう。自觉症状がなくとも、ほんの少しの生活を見直して、普段からバランスのとれた栄養や適度な運動、禁煙、控えめな飲酒を心がけることで、10年後も生き生きと健やかに暮らすことができます。

■図1 国民健康保険の一人当たり医療費の状況



※宮城県の国民健康保険・後期高齢者医療の概要から出典（平成26年度は速報値）

■図2 疾患別標準化死亡比の状況



※第2次みやぎ21健康プラン（平成25年3月）より出典
※標準化死亡比は、平成20年から平成22年の3年間の内容である

となる方は同封の案内書を確認の上、検診を受けてください。また、検診に関する問い合わせは各保健推進室に連絡してください。

保健指導を活用しよう

市では、特定保健指導をはじめさまざまな健康教育・健診などを実施しています。自分の生活習慣を改善した

い方は、各保健推進室の保健師・栄養士へ相談してください。比較する方法の一つ、標準となる集団（国平均）の死亡率を100として比較する



女性農業者のつどい

女性農業者の皆さんのがごる疑問に思っていることや、悩みなど気軽に話し合いませんか。

申し込みは不要で、誰でも自由に参加できます。

◆定住促進栗駒	1戸
住宅(栗駒)	1戸



生涯学習のひろば

◆定住促進金成	2戸
住宅(金成)	2戸



生涯学習のひろば

第9回栗原市写真展

「ふるさと再発見」

リラックス・ヨガ

定員 30人(先着順)
参加費 800円
内容 指導員が基礎から丁寧に指導します
対象 市内在住の小学生以上でスキー初心者の方

栗駒山麓岩魚料理と初めてのスノーシュー

定員 20人(先着順)
参加費 15,000円
内容 指導員が基礎から丁寧に指導します
対象 市内在住の小学生以上でスキー初心者の方

※送迎あり

※持ち物など詳しく述べ

平成28年栗原市消防出初式 安全安心なまちを目指して

1月17日(日)／若柳ドリーム・パル

市民の防火意識と市消防団員や消防職員の指揮を高めるため、恒例の出初式を行いました。

出初式では、参加した消防団員など約650人に對し、市長が「不屈の消防精神を堅持し、現場活動や訓練に取り組み、安全安心のまちづくりに精進いただきたい」とあいさつしました。

また、式典終了後に祝賀放水や消防車両観闘行進も行われ、参加した消防団員などは、防火・防災への誓いを新たにしていました。



▲祝賀放水する消防団員

若柳

栗原市自殺防止講演会 心の健康を保つポイント紹介

1月17日(日)／志波姫の花さくや姫プラザ

「こころが疲れたときに私たちができること」をテーマに、自殺予防を推進するための講演会を開催しました。

精神科医で臨床心理士でもある曾根 維石 氏が講演し、心の発達や構造を踏まえて、ストレスの正しい知識と心が疲れる背景や対人関係のコツを具体的に紹介したほか、「自殺はうつ病の初期、回復期に多い」と注意を促し、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲講演する曾根 維石 さん

志波姫

栗原市合併10周年記念第17回くりこま商家のひな祭り 世相を伝えるひな人形を展示

3月3日(木)まで／栗駒地区岩ヶ崎

古くから伝わるひな人形などを展示する「くりこま商家のひな祭り」が今年も開催されます。

江戸時代後期のひな人形から、明治、大正、昭和と各時代のひな人形が展示され、当時の世相が伝わってきます。ぜひ、お出かけください。

●日時 2月20日(土)～3月3日(木)

午前10時～午後4時

●場所 旧たかひこ(栗駒岩ヶ崎)

●入場料 無料

問 栗駒鶴沢商工会 ☎(45)2191



▲豪華なひな人形が所せましと展示

栗駒

第48回金田郷土芸能新春初舞大会 今年1年の息災を願い

1月2日(土)／一迫地区金田

新年に地域や地区民の無病息災、五穀豊穣などを願い、今年も「金田郷土芸能新春初舞大会」が開催されました。

参加した郷土芸能は「川口ばやし」「清水目ハッ鹿踊り」「川北神楽」の3団体で、地区の商店街を、鐘や太鼓を鳴らしながら練り歩いたほか、鹿踊りが披露され、沿道に詰めかけた地区の方たちは、おはらいを受けたり、獅子舞に頭をかんでもらうなどしながら、今年も平穏な年になるよう願っていました。

一迫



▲獅子に頭をかんでもらい息災を願う

あかりプロジェクト スカイランタンに願いを込めて

1月2日(土)／栗駒地区桜田

熱気球の一種であるスカイランタンを打ち上げるイベント「あかりプロジェクト」が行われました。

スカイランタンの打ち上げは、海外で無病息災などを祈る風習とされており、市内の有志が昨年から始めたイベントです。

参加者たちが、それぞれ願いを書いたスカイランタン110個に火をともすと、夜空にゆっくりと浮かび上がり、会場を訪れた約1,000人が幻想的な光景に歓声をあげていました。

栗駒



▼スカイランタンに点火する参加者



▲夜空に浮かぶスカイランタン

平成28年栗原市交通安全指導隊出動式 交通事故撲滅に向けて

1月4日(月)／栗原市役所

日ごろから街頭指導など、地域の交通安全の確保に尽力している交通安全指導隊の、新年の出動式を行いました。

出動式には、81人の指導隊員が参加し、狩野隊長が整然と並んだ隊員に対し「昨年のはじめ、市内で交通死亡事故が連続して発生した。今年は交通安全の推進にさらに尽力を願う」と訓示しました。参加した隊員たちは、気持ちを新たにして、さっそく街頭指導に向かい今年の活動を開始しました。

築館



▲訓示を受ける交通安全指導隊員



学校きょういくの窓
～夢ひらく学び舎づくり～

第90号

問 教育部学校教育課 (42) 3512・ファックス (42) 3518
Eメール gakkokyoku@kuriharacity.jp

市内の家庭教育学級は、市内の保育所・幼稚園・小学校・中学校で開催しています。昨年6月、「自分と向き合う輝いてますか?笑顔」と題して、保護者と児童を対象に開催しました。当日は、参加者がリラックスできるように、手遊びや紙人形を用いながら進められました。

子育ての各場面における親

家庭教育支援チーム

一迫保育所で開催した家庭
教育学級で講師を務めたのは
栗原市家庭教育支援チームのメン
バーです。チームのメン



▲講習を行う支援チームのメンバー

教育研究センターから

市内の小学3年生から6年生の希望者を対象とする学府くりはら塾「第2期週末学習会」が、1月30日(土)から始まりました。教育研究センターのほか、栗原文化会館、高清水コミュニティセンターを会場として、2月6日(土)、13日(土)、27日(土)、3月5日(土)の計5回を予定しています。国語や算数の課題に挑戦したり、苦手なことを教員経験者である「学び相談員」に聞いたりすることもできます。

教育研究センターでは、教員や学校の支援だけでなく、児童生徒への学習支援についても取り組んでいます。

※学府くりはら塾について、詳しくは学校教育課に問い合わせください

問 教育研究センター (42) 1157
問 教育相談専用電話 (42) 1230

(42) 3514



「学府くりはらの実現」に向けて(26)

家庭教育の推進

近年、子育てに負担を感じたり、子どもの教育・しつけに不安を抱いている保護者が少なくありません。不安を感じていても相談する場所や学ぶ機会をなかなか得てないいるのではないか。そこで、子育てについての学習や情報交換のほか、親子の交流を通じて、子どものしつけや子育てを考える機会の提供、家庭の教育力の向上を目的に、家庭教育学級の開催を推進しています。



▲家庭教育学級の様子

バーは、地域の子育て経験者であり、元保育士や子育てサポートリーダー養成講座修了者など、地域の身近な方々で構成されています。このチームは、希望に合せて、保護者の学習機会や交流の場の提供など、家庭教育支援を行っています。保護者会の研修などへ支援チームの派遣を希望される場合は、問い合わせください。

問 教育部社会教育課

(42) 3514

市内各地でどんど祭

1年の無病息災などを祈願

1月／市内各地

恒例のどんど祭が、小正月に合わせ各地で行われました。

各会場には、しめ縄や松飾りを持った参加者が大勢訪れ、正月飾りの山ができていました。

栗駒地区では、神事を行い火入れが行われると、炎が勢いよく立ち上がって夜空を焦がし、ご神火にあたり無病息災などをお祈りしていました。また、縁起物のまといやだるまなども販売され、とん汁の振る舞いや花火の打ち上げもあり、会場はにぎわいをみせていました。

市内



▲火の周りに集まり無病息災を祈願【栗駒地区】



▲しめ縄をご神火に入れる参加者【鶯沢地区】

せみね裸参り

1年の平穏を願い

1月 14 日(木)／瀬峰公民館～瀬峰八幡神社

1年間の無病息災を願う「せみね裸参り」が行われました。28回目を迎える今年は約100人が参加し、神社までの道のり約2kmを練り歩きました。

参加したのは「瀬峰まつりの会」のほか、野球やサッカーの地元スポーツ少年団、空手道場に所属する子どもたちなどで、さらし姿や各種目のユニホームで、腰にしめ縄を結って参加していました。また、あたたかい飲み物を振る舞ってくれた店舗前では、商売繁盛を願い一本締めを行い、神社ではご神火を1周し、1年の平穏を願いました。

瀬峰



▲1年の平穏を祈る

第36回小僧不動の滝寒中みそぎ

荒行で無病息災祈る

1月 15 日(金)／一迫地区長崎不動水神社小僧不動の滝

厳しい寒さのなか、一迫地区で恒例となった寒中みそぎが行なわれました。

毎年小正月の1月15日に行われ、今年は21人が参加して室内安全や無病息災などを祈っていました。男性は禪姿、女性は白装束姿になり、はしまきを巻いて「エイホ、エイホ」と声をかけ、船をこぐような動きで気合いを入れ、滝つぼの中に入りました。滝の中では手を組んで祈りの言葉を捧げ、頭から水を被る荒行を繰り返し、無病息災を祈りました。

一迫



▲冷たい滝つぼで無病息災を祈る

ぼくたち
わたしたち

むし歯ありません!

12月の3歳児健診で、むし歯のなかった
子どもは、47人中35人でした。

問 市民生活部健康推進課 ☎ (22) 0370



※ 了解を得た方のみ掲載しています



第7回講座は16人が参加し、「みんなで取り組む、おらいの防災」をテーマに男女共同参画の視点から、地域の防災力を高める学習をしました。講演では、男女平等社会をめざした講座やセミナーの開催などを行っていることや、東日本大震災発生時には、避難所や仮設住宅での支援を行い、女性の声が届かない現実や課題などを感じたことを話されました。また、平成25年度から、地域で防災の担い手となる女性リーダーの養成講座を開催し、3年間で100人の受講生が、自分の地域で防災の取り組みを実践していることを紹介しました。その後、ワークショップでは、グループに分かれて避難所に必要な「場

いち・にの参画講座 第7回「みんなで取り組む、おらいの防災」

●講師

NPO法人イコールネット仙台 代表理事 宗片 恵美子 氏

12月12日(土) / 市民活動支援センター



▲第7回講座の様子

●【受講生の声】
「ワークショップは難しいところもあつたが、日々の準備が、災害時に役立つことが理解できた。何かあった時ではなく、日々の生活での情報交換が大切だと感じた

●【受講生の声】
「これからは学んだことを、地域で活用したいと思う。自分や地域のために、役立つ講座がたくさんあつた。DVについては心が痛かったが、理解を深めることの大切さを感じた。来年度は、周囲の人に対する講話をすすめ



▲修了証書を受け取る受講生

きょうどうのため

今月のテーマ／いち・にの参画講座 閉講式

6月から始まった平成27年度男女共同参画推進サポーター養成講座「いち・にの参画講座」は、男女共同参画について学習するだけでなく、地域の中で男女共同参画推進の取り組みを実践していくサポート（協力者）を育成することを目的に開催しました。初めは「男女共同参画社会」という言葉も知らない受講生もいましたが、講座には毎回興味をもつて参加していました。ささらに、聞き慣れない言葉や初めてのこと、苦手な内容であつても、「一つでも覚えたい」、「自分を振り返るチャンス」と前向きに考え、真剣に学ぶ姿が見られました。

誰もが平等で、いきいきと生活できる男女共同参画社会の実現のためには、市民の皆さん一人一人が日常の中に実践し、地域で活躍されることを期待しています。

受講生の皆さんのが学習したことを実践する「自分にできること」を考え、実践することが大切です。

市では、平成28年度も男女共同参画推進のための講座を開催していきます。皆さん、気軽に参加してください。

平成27年度いち・にの参画講座の閉講式を迎えて

